

都 市 消 防 委 員 会 説 明 資 料

被災地支援の取り組みについて

平成27年12月18日

防災危機管理局

目 次

	頁
1 職員派遣.....	1
2 陸前高田市との交流.....	6
3 被災者の受け入れ支援.....	10

1 職員派遣

(1) 平成27年度の職員派遣

派遣先	職務内容	派遣所属名（派遣人数）
陸前高田市	産業労働事務	商工観光課（1）
	道路等復旧業務	建設課（1）
	復興計画推進	市街地整備課（4）
	学校建設の施工管理等	教育施設整備室（2）
	計	8名
宮古市	埋蔵文化財発掘調査	文化課（1）
	計	1名
気仙沼市	下水道復旧業務	下水道課（1）
	計	1名

注1 地方自治法第252条の17に基づく派遣

2 派遣期間は平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(2) これまで陸前高田市に派遣した職員が貢献した主な事業

- ・財務システム及びデータの復旧
- ・庁内LANの構築、情報ネットワークの復旧
- ・り災家屋の調査、土地関係のデータの復旧
- ・戸籍・住民票、国民健康保険、生活保護、介護保険、家庭ごみ収集等の行政サービスの回復
- ・震災復興計画の策定
- ・農業・林道関係のデータの復元
- ・防災行政無線の復旧、地域防災計画の改訂
- ・バス路線や鉄道などの交通政策の調整
- ・被災した保育所、子育て支援センター等の再開
- ・災害保健支援チームの総括、被災者に対する保健指導等の実施
- ・被災した小中学校の施設の応急復旧、建設
- ・水道事業の運営事務及び被災した水道施設の復旧
- ・被災中小企業の再開支援
- ・区画整理事業に係る調整・工事
- ・高台への防災集団移転に係る調整・工事
- ・火災予防に関する技術指導等の実施

(3) 陸前高田市等への支援に対するネット・モニターアンケートの実施

本市が実施する職員派遣などの被災地支援活動について、市民の考えや評価を調査し、今後の被災地支援の参考にする。

区 分	内 容
調 査 テ ー マ	東日本大震災被災地支援活動について
期 間	平成27年8月21日（金）～8月31日（月）
対象モニター	調査対象500名に対して有効回収数457名 （有効回収率91.4％）
調 査 結 果	・ 職員派遣について、「賛成」が約5割、「どちらか」というと賛成」が約4割 ・ 来年度以降の陸前高田市への職員派遣について、「陸前高田市の要望に即した職員派遣を継続した方がよい」が約8割

(4) 報告会等の開催

ア 市民向け

市民等の理解と協力を得て、継続して被災地支援を行っていくとともに、市民の防災意識の高揚を図るため、被災地の現状や震災の教訓等を伝える取り組みを行っている。

(ア) 被災地派遣職員による講演会

内 容：被災地支援を通して培った知識や経験等について、体験談を交えながら、市民へ伝えるもの

実施場所：全区（8区で実施済、8区は今後実施予定）

(イ) パネル展示等各種広報

- ・いわて陸前高田復興支援展示スペース（地下鉄上前津地下街）、港防災センターでのパネル常設展示
- ・市役所庁舎開放日等各種行事でのパネル展示
- ・公式ウェブサイト、市政出前トーク 等

イ 職員向け

研修会等を開催し、被災地支援活動を通じて得られた経験等を伝えるとともに、現地で被災地の状況を感じとることで、行政組織としての防災力の向上につながる取り組みを行っている。

(ア) 被災地派遣職員による報告会

実施時期：平成27年7月9日（木）

会 場：中区役所ホール

参加者数：約350名

(イ) 陸前高田市現地派遣研修

実施時期：平成27年8月25日（火）～28日（金）

対 象 者：入庁4年目～10年目程度の職員 13名

(5) 平成28年度の職員派遣予定

ア 方針

- ・被災地の厳しい状況に鑑み、引き続き陸前高田市及び宮古市、気仙沼市に対して要請のあった職務に精通した職員を派遣し、支援を行う。
- ・特に陸前高田市については、区画整理事業において高台の造成工事や浸水地域のかさ上げ工事が進むなど、都市基盤の整備が進展することから、道路等復旧業務、復興計画推進、学校建設の施工管理等の技術的・専門的業務へ重点的に職員を派遣する。
- ・被災地域支援本部事務局職員及び派遣元局の職員が定期的に被災地を訪問し、派遣職員との情報交換、意見交換の場を設けることにより、派遣職員が孤立しないようサポートを継続する。

イ 内訳

派遣先	職務内容	職種	人数
陸前高田市	産業労働事務 (中小企業振興・産業振興)	一般事務	1名
	道路等復旧業務	技術	1
	復興計画推進 (区画整理)	一般事務・技術	4
	学校建設の施工管理等	一般事務	1
		技術	1
	計		8
宮古市	埋蔵文化財発掘調査	学芸員	1
	計		1
気仙沼市	下水道復旧業務	技術	1
	計		1

注1 陸前高田市等と名古屋市被災地域支援本部との調整に基づく現時点での見込み

2 年間を通じて同一職員による派遣を予定

2 陸前高田市との交流

陸前高田市への行政機能の“丸ごと支援”を契機として広がってきた両市の交流が末永く続けられるよう、陸前高田市と名古屋市において締結した友好都市協定（平成26年10月28日）により、両市間の交流を推進している。

（1）市民の交流

ア 市民芸術祭等での相互展示

両市で開催されている市民芸術祭等において、両市の市民の優秀作品を相互に展示し、交流を図った。

（ア）陸前高田市民芸術祭

会 期：平成27年11月1日（日）～3日（水）

展示作品：陸前高田市民の出展作品と併せて、名古屋市の区民美術展の優秀作品16点を展示

（イ）名古屋市民美術展

会 期：平成27年11月17日（火）～22日（日）

展示作品：名古屋市の区民美術展の優秀作品と併せて、陸前高田市民芸術祭の優秀作品16点を展示

イ 名古屋市及び陸前高田市市民交流補助金制度の創設

両市の市民交流の促進を図るため、交流事業を実施する団体に対する助成制度を創設した。

補 助 金 額：上限10万円

交付申請団体数：8団体（平成27年10月31日現在）

ウ イベントにおける郷土芸能の披露

第61回名古屋まつりの「東北・なごや大交流」において、陸前高田市の郷土芸能「槻沢念仏つきさわねんぶつ鎧剣舞よろいけんまい」の保存団体を招へいし、演舞を披露した。

(2) 子どもたちの交流

陸前高田市と名古屋市の両教育委員会において締結した「絆協定」（平成24年5月2日）により、両市の子どもたちによる相互訪問等を通して交流を深めるとともに、両市の将来のまちづくりを担う人材の育成を図った。

ア 本市の中学生による陸前高田市訪問

実施期間：平成27年8月24日（月）～26日（水）

訪問者数：37名（千種区7校、中村区7校、守山区8校、
名東区8校、天白区7校より各1名）

主な行程：＜1日目＞ 世界遺産平泉の見学

＜2日目＞ 陸前高田市長との懇談

陸前高田市教育長からの防災講話

震災遺構の視察

陸前高田市交流団との交流・意見交換会

仮設住宅でのボランティア活動

＜3日目＞ 牡蠣養殖・震災体験講話

生徒の主な声：

- ・震災講話での「人に頼ってもいい」という言葉や陸前高田市の中学生の防災に関する話を聞き、震災が起こったとき、自分から行動する、人に頼る、人を支えるということが重要だと改めて感じる事ができた。
- ・「周りの人の笑顔で支えられている」という陸前高田市の中学生の言葉で、自分たちは日々当たり前のように幸せに過ごしているが、周りの人を本当に大切にしているか考えさせられ、その存在の大切さに気付く事ができた。
- ・新しい復興のまちづくりの様子を見て驚いた一方で、奇跡の一本松や震災当時のまま家具などが残されている住宅を見て、陸前高田市の人々の「震災を忘れないでほしい」という願いが込められていると感じ、支える側であるはずの自分たちが目をそむけてはならない、この震災を忘れてはならないと改めて実感した。

イ 陸前高田市の中学生による名古屋市訪問（予定）

実施期間：平成28年1月6日（水）～8日（金）

訪問者数：20名

主な行程：＜1日目＞ 科学館において名古屋市交流団と交流
＜2日目＞ 職場体験
＜3日目＞ 本市中学校での交流、名古屋城見学

（3）陸前高田市への産業支援

「陸前高田産業支援デスク」を設置し、陸前高田製品の販路開拓を図るなど、現地企業を支援している。

ア イベントへの出展等

（ア）陸前高田市で開催されるイベントへの出展

陸前高田市産業まつりにおいて、なごやめしを提供する名古屋市ブースの出展や、ステージイベントへの参加などを行い、陸前高田市民や地元商工業者との交流を図った。

（イ）本市で開催されるイベントへの出展

名古屋まつりや名古屋城宵まつりをはじめとした本市で開催するイベントに出展を行い、陸前高田製品の販売やPRを行った。

イ 販路開拓支援

陸前高田市等の企業と当地域の企業との商談会等を開催し、商取引の活性化を図った。

実施日：平成27年10月22日（木）

実施場所：キャピタルホテル1000（陸前高田市）

参加者数：陸前高田市等の企業26社・団体
名古屋地域の企業9社

ウ 被災地への専門家の派遣

公認会計士やデザイナーを派遣し、現地企業の商品開発や経営力の向上・経営基盤の強化を支援した。

公認会計士派遣：6社

デザイナー派遣：7社

(4) 陸前高田市への医療支援

名古屋市立大学看護学部が推薦入試に設置された陸前高田市枠を通して、看護の中核的人材の育成を図るなど、陸前高田市の地域医療を支援している。

【名古屋市立大学看護学部陸前高田市枠の概要】

区 分	内 容
定 員	2 名
対 象	出願時点または東日本大震災発災時に陸前高田市に住民登録を有し、岩手県気仙地区（陸前高田市、大船渡市及び気仙郡住田町）内の高等学校卒業（見込み）の者
期 間	平成 2 5 年度入試～平成 2 9 年度入試の 5 年間
支 援 内 容	・入学検定料及び入学料、4 年間の授業料を全額免除 ・名古屋市立大学が宿舍を斡旋し、家賃の一部を名古屋市と名古屋市立大学が負担
在籍生徒数	6 名（1 年生、2 年生、3 年生 各 2 名）

3 被災者の受け入れ支援

(1) 本市受入被災者数

平成27年10月31日現在

区 分	世 帯 数	人 数
市 営 住 宅	40 世帯	82 名
県 営 住 宅 等	10	24
民 間 住 宅 等	121	283
計	171	389

(2) 各局の主な支援実績

所 管 局	支 援 内 容	実 績
市 長 室	外 国 人 相 談	7件
総 務 局	女性のための総合相談	40件
財 政 局	税 務 証 明 申 請 に 係 る 手 数 料 の 免 除	263件
市民経済局	住 民 票 の 写 し 等 の 手 数 料 の 免 除	868件
	東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごやの運営	相談2,627件 交流会46回、1,351名
環 境 局	リ ュ ー ス (再 使 用) 家 具 の 提 供	125世帯、258個

所 管 局	支 援 内 容	実 績
健康福祉局	生活福祉資金等の貸付	16件
	生 活 保 護	25件
	介 護 保 険	保険料災害減免等36件
	障害福祉サービス、 自立支援医療等に関する相談	54件
	予 防 接 種 の 申 請	446名
	国民健康保険、後期 高齢者医療、国民年金	保険料災害減免等359件
子 ども 青 少年 局	保 育 所 へ の 入 所	17園、25名
	妊 婦 及 び 乳 幼 児 の 健康相談と健康診査等	母子健康手帳交付等40件 乳幼児健康診査52名
住宅都市局	市 営 住 宅 等 の 提 供 〔風呂釜、コンロ、毛布、 照明器具、エアコンの提供〕	入居決定145世帯、395名 〔風呂釜 70個 コンロ 113個 毛 布 232枚 照明器具 114個 エアコン 52台〕
緑政土木局	東 山 動 植 物 園 へ の 受入被災者の無料招待	5回、192名
教育委員会	小学校・中学校・高等学校・ 幼稚園等への転入学の人数	100校（園）、170名
	就学援助（認定件数）	55件
病 院 局	市 立 病 院 で の 一部負担金等の免除	93件

注 実績は平成23年3月11日から平成27年10月31日までの
延べ総数

(3) 定期便「応援します！被災者の皆さんへ」号

愛知県受入被災者登録制度に登録者された方のうち希望される方に、原則毎月1日と15日の月2回、定期便により情報提供を実施している。

ア 実績

全108回、延べ1,459件の情報を延べ15,927世帯に提供

(平成23年5月16日から平成27年11月1日までの実績)

イ 主な情報提供内容

(ア) 本市からの支援情報

- ・「東日本大震災の被災により名古屋市へ避難された方へ」のチラシ
- ・よくあるお問い合わせ事例集～東日本大震災の被災により名古屋市へ避難された方へ～
- ・東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごやからのお知らせ
- ・就労に係る相談窓口やセミナーなど就労支援に関する各種情報

(イ) 県からの支援情報

- ・愛知県被災者支援センターニュース
- ・避難元自治体からの情報提供

(ウ) 民間からの支援情報

- ・野球観戦（ナゴヤドーム）の無料招待
- ・コンサート無料招待